

総合診療学分野

論文

A 欧文

A-a

- 1 . Tsuji Y, Koga T, Nonaka F, Nobusue K, Kawashiri S, Yamanashi H, Maeda T, Arima K, Aoyagi K, Takahashi M, Kawaguchi S, Matsuda F, Fujii H, Kawano M, Nakamura H, Kawakami A, Tamai M: Identification of risk factors for elevated serum IgG4 levels in subjects in a large-scale health checkup cohort study. *Frontiers in immunology* 14: 1124417, 2023. doi: 10.3389/fimmu.2023.1124417. (IF: 5.7)
- 2 . Okawachi T, Arima K, Mizukami S, Koto S, Suiko M, Kit A, Nakashima H, Uchiyama M, Honda Y, Tanaka N, Tsujimoto R, Nishimura T, Tomita Y, Abe Y, Kusano Y, Kawashiri S, Tamai M, Yamanashi H, Nagata Y, Kawakami A, Maeda T, Aoyagi K: Association between mental health and bone mass among community-dwelling adults: Nagasaki Islands Study on bone health. *Acta Medica Nagasakiensia* 66(2): 81-86, 2023. doi: 10.11343/amn.66.81.
- 3 . Shimizu Y, Yamanashi H, Kitamura M, Miyata J, Nonaka F, Nakamichi S, Saito T, Nagata Y, Maeda T: Association between periodontitis and chronic kidney disease by functional atherosclerosis status among older Japanese individuals: A cross-sectional study. *Journal of clinical periodontology* 50(4): 430-439, 2023. doi: 10.1111/jcpe.13755. (IF: 5.8)
- 4 . Shimizu Y, Hayashida N, Yamanashi H, Noguchi Y, Kawashiri S, Takada M, Arima K, Nakamichi S, Nagata Y, Maeda T: Serum Concentration of Growth Differentiation Factor 15 and Atherosclerosis among General Older Japanese Individuals with Normal Weight. *Biomedicines* 11(6): 1572, 2023. doi: 10.3390/biomedicines11061572. (IF: 3.9)
- 5 . Shimizu Y, Yamanashi H, Miyata J, Takada M, Noguchi Y, Honda Y, Nonaka F, Nakamichi S, Nagata Y, Maeda T: Serum Calcium Level and Functional Atherosclerosis in Relation to Human T-Cell Leukemia Virus 1 Infection in Older Individuals. *Journal of Vascular Diseases* 2(3): 324-337, 2023. doi: 10.3390/jvd2030025.
- 6 . Shimizu Y, Matsuyama M, Noguchi Y, Takada M, Kawashiri SY, Fukui S, Nakamichi S, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N: Association between anti-thyroid peroxidase antibody and thyroid stimulating hormone: a cross-sectional study. *Scientific Reports* 13(1): 2023. doi: 10.1038/s41598-023-40275-6. (IF: 3.8)
- 7 . Hirabayashi R, Nakayama H, Yahaba M, Yamanashi H, Kawasaki T: Utility of interferon-gamma releasing assay for the diagnosis of active tuberculosis in children: A systematic review and meta-analysis. *Journal of Infection and Chemotherapy* 30(6): 516-525, 2023. doi: 10.1016/j.jiac.2023.12.007. (IF: 1.9)
- 8 . Tanaka T, Tashiro M, Ota K, Fujita A, Sawai T, Kadota J, Fukuda Y, Sumiyoshi M, Ide S, Tachikawa N, Fujii H, Hibino M, Shiomi H, Izumida M, Matsui K, Yamauchi M, Takahashi K, Yamanashi H, Sugimoto T, Akabame S, Umeda M, Shimizu M, Hosogaya N, Kosai K, Takeda K, Iwanaga N, Ashizawa N, Hirayama T, Takazono T, Yamamoto K, Imamura Y, Miyazaki T, Kobayashi Y, Ariyoshi K, Mukae H, Yanagihara K, Kita K, Izumikawa K: Safety and efficacy of 5-aminolevulinic acid phosphate/iron in mild-to-moderate coronavirus disease 2019: A randomized exploratory phase II trial. *MEDICINE* 102(34): 2023. doi: 10.1097. (IF: 1.3)
- 9 . Ishido H, Chiba S, Takahashi H, Isa M, Ogawa Y, Kubota H, Imanishi A, Omori Y, Ono T, Tsutsui K, Han G, Kondo H, Tsuji H, Nakamagoe K, Ishii A, Tanaka K, Tamaoka A, Shimizu T, Nishino S, Miyamoto T, Kanbayashi T: Characteristics of hypersomnia due to inflammatory demyelinating diseases of the central nervous system. *BMJ neurology open* 5(1): e000428, 2023. doi: 10.1136/bmjno-2023-000428. (IF: 2.1)
- 10 . Miyazaki A, Takahashi M, Shuo T, Eto H, Kondo H: Determination of optimal 25-hydroxyvitamin D cut-off values for the evaluation of restless legs syndrome among pregnant women. *Journal of Clinical Sleep Medicine* 19(1): 73-83, 2023. doi: 10.5664/jcsm.10270. (IF: 3.5)
- 11 . Iwagami M, Seol J, Hiei T, Tani A, Chiba S, Kanbayashi T, Kondo H, Tanaka T, Yanagisawa M: Association between electroencephalogram-based sleep characteristics and physical health in the general adult population. *Scientific reports* 13(1): 21545, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-47979-9. (IF: 3.8)
- 12 . Kurashige T, Shimamura M, Hamada K, Matsuse M, Mitsutake N, Nagayama Y: Characterization of metabolic reprogramming by metabolomics in the oncocytic thyroid cancer cell line XTC.UC1. *Scientific Reports* 13(1): 149, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-27461-2. (IF: 3.8)

B 邦文

B-a

- 1 . 花村衣咲,野中文陽,上条将史,竹島史直,前田隆浩 : COVID-19感染拡大に伴う緊急事態宣言が糖尿病患者の生活習慣と血糖コントロールに及ぼす影響. *糖尿病* 66(2): 129-138, 2023.

B-c

1. 清水真澄,山梨啓友: 診断と治療 原因不明で経過する発熱、不明熱患者のみかた 2023Vol.111 No.8 感染症を疑った場合の診察とスクリーニング検査. : 2023.

B-e-1

1. 清水悠路,川尻真也,野口優子,永田康浩,前田隆浩,林田直美: 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体と動脈硬化の関係. *Journal of Epidemiology* 33(Suppl.1): 140, 2023.
2. 本多由起子,山田貴恵子,中村典子,浦上明日香,明石理恵,久保琴恵,近藤照美,川上敏宏,樋口貴彦,前田隆浩,永田康浩: 離島の母親のモバイルヘルスに関するレディネスとニーズ. *Journal of Epidemiology* 33(Suppl.1): 134, 2023.
3. 玉井慎美,野中文陽,辻 良香,川尻真也,古藤世梨奈,有馬和彦,青柳 潔,前田隆浩,川上 純: 関節リウマチの高リスク群からの発症とその予測 住民健康診査(Nagasaki Island Study:NaIS). *Journal of Epidemiology* 33(Suppl.1): 117, 2023.
4. 赤羽目翔悟,増田真吾,山梨啓友,前田隆浩: HTLV-1の分子系統別疾患感受性の解明. 日本感染症学会総会・学術講演会・日本化学療法学会学術集会合同学会プログラム・抄録集 97回・71回: 2023.
5. 増田真吾,上原裕規,福井翔一,小笹宗一郎,赤羽目翔悟,山梨啓友,今西大介,勝岡真一,佐藤信也,野村賢太郎,黒濱大和,宮崎泰司,前田隆浩: 不明炎症の診断に18FDG-PET/CTが有用だった、血管内大細胞型B細胞リンパ腫の一例. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 14回: 289, 2023.
6. 濱田航一郎,上原裕規,平 篤,小笹宗一郎,岩田知真,増田真吾,赤羽目翔悟,杉本尊史,長浦由紀,中道聖子,児島正純,溝上明成,山梨啓友,前田隆浩: 消化器症状を認めない非チフス性サルモネラ菌血症の1例. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 14回: 287, 2023.
7. 浦野あおい,宮田 潤,橋本康史,大石佳奈,大塩達也,後藤 光,上田尚佳,橋爪 凜,上原裕規,増田真吾,山梨啓友,前田隆浩: プライマリ・ケアサークル設立の軌跡と地域診断ワークショップの試み. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 14回: 335, 2023.
8. 小屋松 淳,野中文陽,宮田 潤,野原夏樹,永田康浩,前田隆浩: 医学生における総合診療科と他の基本領域診療科への興味関心についての検討. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 14回: 313, 2023.
9. 中桶了太,杉本尊史,調 漸,永田康浩,前田隆浩,有吉紅也: 日本のへき地医療と国際医療を結んだ医療人育成 長崎大学病院国境を越えた地域医療人支援機構. *医学教育* 54(Suppl.): 216, 2023.
10. 小笹宗一郎,山梨啓友,赤羽目翔悟,福井翔一,濱田航一郎,平 篤,上原裕規,増田真吾,杉本尊史,溝上明成,前田隆浩: 難治性腹水と繰り返すイレウスを呈した放射線性腸間膜炎の一例. *日本病院総合診療医学会雑誌* 19(臨増2): 144, 2023.
11. 梅田雅孝,古賀智裕,前田隆浩,有吉紅也,川上 純: ゲノム解析時代における不明熱診療に関する記述的研究. 九州リウマチ 43(2): S54, 2023.
12. 梅田雅孝,塚本 裕,杉本尊史,小笹宗一郎,赤羽目翔悟,福井翔一,古賀智裕,松岡裕毅,古瀬祐気,前田隆浩,有吉紅也,川上 純: MEFV複合ヘテロ接合体変異を持つ難治性パーチェットに対してカナキヌマブを含む加療が有効であった一例. *日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集* 51回: 88, 2023.
13. 上原裕規,増田真吾,増田真吾,福井翔一,渡邊裕史郎,小笹宗一郎,赤羽目翔悟,山梨啓友,岩本直樹,坂本 光,宮崎泰司,岡野慎士,前田隆浩: サーモンピンク疹を伴い,成人still病との鑑別を要した血管内リンパ腫の一例. *日本病院総合診療医学会雑誌(Web)* 19: 2023.
14. 宮田 潤,山梨啓友,延末謙一,本多由起子,清水悠路,嵩 義則,北岡 隆,柳原克紀,青柳 潔,川上 純,前田隆浩: HTLV-1高浸淫地域住民におけるぶどう膜炎発症の実態調査: Nagasaki Islands Study. *日本公衆衛生学会総会抄録集* 82回: 300, 2023.
15. 宮崎禎一郎,上原裕規,古田可奈子,前川隆太,鳥村大司,富田祐輝,山下魁理,平山拓朗,島 智秋,長岡篤志,吉村俊祐,立石洋平,前田隆浩,辻野 彰: 離島の病院におけるスマートグラスを用いたDtoDtoPの脳神経内科遠隔診療の展開. *臨床神経学* 63(Suppl): S261, 2023.
16. 都田真奈,宮元敬天,黒崎友亮,北里海雄,麓 伸太郎,大山 要,中嶋幹郎,鈴木智香子,福地弘充,野中文陽, 前田隆浩,武田三樹子,Tracy Hunter,Barry Bleske,西田孝洋: 長崎大学薬学部での米国ニューメキシコ大学薬学部実習生の臨床実習受入 国際薬学教育ネットワークの構築. *医学教育* 54(Suppl): 238, 2023.

17. 長井一浩,曾篠恭裕,石川達也,前田隆浩: 無人航空機を用いた医療資材搬送システムの構築. *Japanese Journal of Disaster Medicine* 27(Suppl.2): 391, 2023.
18. 前田隆浩: 地域医療における遠隔医療の役割 新たな技術シーズを活用した離島での遠隔医療の取組. *日本遠隔医療学会雑誌* 18(補刊号): 49, 2023.
19. 野中文陽,平山奈々,谷川美喜子,松野尾節子,花村衣咲,高木博人,前田隆浩,竹島史直: 1型糖尿病患者に生じる低血糖の臨床的背景. *糖尿病* 66(1): 115-116, 2023.
20. 前田隆浩: これからの地域医療を考える～総合診療の視点から～. *西彼杵医師会報* 125: 29-34, 2023.
21. 春田淳志,安藤崇之,遠藤 周,金子 惇,鋪野紀好,長嶺由衣子,錦織 宏,藤川裕恭,山梨啓友: Making of 医学教育モデル・コア・カリキュラム 2. 資質・能力に新設された総合的に患者・生活者をみる姿勢について. *医学教育* 54(2): 142-148, 2023.

B-e-2

1. 濱田航一郎,蔵重智美,嶋村美加,荒川博文,中村康之,永山雄二: MIEAP、ATG5は甲状腺がんの腫瘍抑制因子である. *日本内分泌学会雑誌* 98(5): 1284, 2023.
2. 飯田昌子,長浦由紀,関口 愛,曾我真千恵: マイノリティストレスがHIV陽性者の治療意欲に及ぼす影響-カウンセラーの視点から-. 第37回日本エイズ学会学術集会・総会抄録集 25(4): 478, 2023.
3. 関口 愛,長浦由紀,林 宏祐,甲斐 恵,和久田浩一,中村優佑,及川伊知郎,大谷直由,今井浩光,上村尚人: 臨床薬理学教育におけるポリファーマシーに関する症例を活用した医療面接実習: 教育効果の探索的検討. 第44回日本臨床薬理学会学術総会Web抄録 <https://society.main.jp/jscpt/44jscpt/abstract/xml/2-C-P-Fs.xml>: 2023.
4. 春田優美,長浦由紀,加藤千穂,岡島 義,江藤宏美,近藤英明: 大学生の不眠に対するデジタル認知行動療法の有効性: シングルアームパイロット研究. *日本睡眠学会第45回定期学術集会第30回日本時間生物学会学術大会合同大会プログラム・抄録集*: 297, 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	17	6	29

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
前田隆浩・教授	長崎県総合診療専門医養成推進委員会・委員長	長崎県総合診療専門医養成推進委員会
前田隆浩・教授	長崎県地域医療介護総合確保基金(医療分)事業計画検討ワーキンググループ委員会	長崎県医療政策課
前田隆浩・教授	五島市予防接種健康被害調査委員会	五島市
前田隆浩・教授	五島市保健対策推進協議会	五島市
前田隆浩・教授	五島中央病院倫理委員会	五島中央病院
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会大学ネットワーク委員会・委員長	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会島嶼及びへき地医療委員会・副委員長	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会・会長	日本プライマリ・ケア連合学会

前田隆浩・教授	日本生理人類学会・代議員	日本生理人類学会
前田隆浩・教授	日本病院総合診療医学会・理事	日本病院総合診療医学会
前田隆浩・教授	全国医学部長病院長会議地域医療調査実施委員会	全国医学部長病院長会議
山梨啓友・准教授	国際緊急援助隊 感染症対策チーム作業部会 診療・感染制御班	国際協力機構 (JICA)
山梨啓友・准教授	日本結核・非結核性抗酸菌症学会システムティックレビューチーム委員	日本結核・非結核性抗酸菌症学会
赤羽目翔悟・助教	評議員	日本病院総合診療医学会
赤羽目翔悟・助教	内科専門研修 病歴要約査読委員	日本内科学会
赤羽目翔悟・助教	専門医部会九州支部運営委員	日本内科学会
濱田航一郎・助教	九州ブロック代議員	一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
長浦由紀・助教	長崎大学病院情報セキュリティ・情報システム管理委員会	長崎大学病院
長浦由紀・助教	長崎市職員採用試験員	長崎市役所

競争的研究資金獲得状況 (共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「日本人における性ホルモン・骨代謝回転・骨量間関連の生理的・遺伝的研究」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「HTLV-1の分子系統別疾患感受性の解明と層別化コホート研究の構築」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「口腔健康状態は生活習慣病や認知機能へ影響するか? : 五島コホート研究」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「医療・介護連結ビッグデータによるポリファーマシーと介護リスクの関連分析」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「多疾患併存は高齢者の加齢性身体機能低下とどのような疫学的関連性があるのか」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「甲状腺の有するエネルギー調整機能の動脈硬化指標への影響の解明」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「Mixed Realityと人工知能で実現する関節リウマチ遠隔医療システムの構築」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「コホートをういた歯周病と全身炎症を繋ぐ分子基盤の解明と病態制御への応用」

山梨啓友・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「多疾患併存は高齢者の加齢性身体機能低下とどのような疫学的関連性があるのか」
山梨啓友・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「甲状腺の有するエネルギー調整機能の動脈硬化指標への影響の解明」
長浦由紀・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「交代勤務看護師を対象とした認知行動療法を用いた睡眠衛生教育プログラムの確立」
長浦由紀・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「マイノリティストレスがHIV陽性者の治療意欲抑制に及ぼす影響と支援策の案出」
長浦由紀・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「孤独感－自殺プロセスに寄与する睡眠問題の特定と認知行動療法による孤独予防効果」
濱田航一郎・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 研究活動スタート支援「マイトファジー関連遺伝子に着目したサルコペニアの病態解明」
前田隆浩・教授	そらいいな株式会社	離島地域におけるドローンによる処方薬配送モデルの検討	

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
前田隆浩・教授	新規ヒト形質細胞様樹状細胞株	2005年8月12日	2012年6月15日	特許第5011520号

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関 係 機 関 名
前田隆浩・教授	非常勤講師 (人体の構造と機能及び疾病)	長崎純心大学
前田隆浩・教授	地域医療学総論 (離島・へき地医療)	自治医科大学
山梨啓友・准教授	非常勤講師 (人体の構造と機能及び疾病)	長崎純心大学
濱田航一郎・助教	非常勤講師 (人体の構造と機能及び疾病)	長崎純心大学
長浦由紀・助教	非常勤講師 (現代の精神保健の課題と支援 I・II)	鎮西学院大学総合社会学部社会福祉学科
長浦由紀・助教	非常勤講師 (心理学)	九州医学技術専門学校臨床検査学科
長浦由紀・助教	非常勤講師 (人間関係論)	長崎市医師会看護専門学校第1看護学科
長浦由紀・助教	非常勤講師 (メンタルヘルス特論)	長崎県立大学大学院人間健康科学研究科

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
前田隆浩・教授	ICTとドローンを使ったへき地医療支援の試み	朋百	2023年5月1日	五島市、五島医師会、MONET Technologies (株)、そらいいな (株)、豊田通商 (株) と連携して医療MaaSやドローン物流を活用したへき地医療支援活動を展開している。医療MaaSは2022年度デジタル田園都市国家構想に採択されたプロジェクトで、改造したトヨタハイエースに看護師、通信システム、医療機器を搭載し、通院が困難な患者宅を訪問してDoctor to Patient with Nurseモデルのオンライン診療を提供する。2023年1月から開始し、徐々に利用患者と利用する医療機関が増加している。また、2019年からドローン物流を活用して、二次離島等の患者へ医薬品を届けたり、二次離島からの血液検体の搬送を行っている。医療へのアクセスが困難な離島・へき地の医療課題を解決する手段として、実証を繰り返している。
前田隆浩・教授	「ICTリテラシーの壁を発想の転換で克服 医療MaaSで離島・へき地医療の質向上」	The Journal of Japan Association of Healthcare Consultants	2023年10月	五島市、五島医師会、MONET Technologies (株)、そらいいな (株)、豊田通商 (株) と連携して医療MaaSやドローン物流を活用したへき地医療支援活動を展開している。医療MaaSは2022年度デジタル田園都市国家構想に採択されたプロジェクトで、改造したトヨタハイエースに看護師、通信システム、医療機器を搭載し、通院が困難な患者宅を訪問してDoctor to Patient with Nurseモデルのオンライン診療を提供する。2023年1月から開始し、徐々に利用患者と利用する医療機関が増加している。また、2019年からドローン物流を活用して、二次離島等の患者へ医薬品を届けたり、二次離島からの血液検体の搬送を行っている。医療へのアクセスが困難な離島・へき地の医療課題を解決する手段として、実証を繰り返している。

前田隆浩・教授	「人口減の地域医療に活用」	読売新聞医療ルネサンス	2023年10月27日	過疎化と高齢化が進む地方では、医療（専門医療を含む）へのアクセスが困難な高齢患者も増えていくことが予想されるため、その課題解決策の一つとしてオンライン診療が役立つ。オンライン診療の社会実装に向けた意見を述べた。
近藤英明・助教	広報誌掲載	長崎県市町村職員共済組合・共済ながさき No. 199	2023年10月	組合員とその家族を対象とした広報誌において睡眠・覚醒の問題に関する啓発を行った。

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
長浦由紀・助教	Excellent Poster Presentation Award Awarded at The 9th China-Japan Joint Meeting of Basic and Clinical Pharmacology	The 9th China-Japan Joint Meeting of Basic and Clinical Pharmacology	Problem-solving clinical clerkship emphasizing medical communication: A case of medical interview training for polypharmacy in clinical pharmacology education
長浦由紀・助教	優秀発表賞	第44回日本臨床薬理学会学術総会	臨床薬理学教育におけるポリファーマシーに関する症例を活用した医療面接実習:教育効果の探索的検討

特筆すべき事項

長崎大学病院総合診療科に「睡眠・覚醒障害診療」を開設。